

Mizuho Daily Market Report

2025/3/10

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.61	148.04	+0.06	▲2.59
EUR	1.0830	1.0833	+0.0048	+0.0458
AUD	0.6310	0.6305	▲0.0028	+0.0096
SGD	1.3316	1.3310	▲0.0023	▲0.0204
CNY	7.2446	7.2459	+0.0041	▲0.0325
MYR	4.4195	4.4120	▲0.0135	▲0.0505
THB	33.65	33.65	▲0.10	▲0.53
IDR	16294	16295	▲35	▲285
PHP	57.16	57.19	▲0.14	▲0.80
INR	87.05	86.88	▲0.24	▲0.63
VND	25518	25513	+14	▲44

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.301%	+2.3 bp	+9.3 bp
日本(10年)	1.520%	▲2.1 bp	+14.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.836%	+0.3 bp	+43.0 bp
オーストラリア(5年)	3.938%	▲7.4 bp	+5.0 bp
シンガポール(5年)	2.539%	▲6.5 bp	▲8.7 bp
中国(5年)	1.661%	+5.4 bp	+5.0 bp
マレーシア(5年)	3.589%	+0.0 bp	▲0.8 bp
タイ(5年)	1.953%	▲0.1 bp	+0.0 bp
インドネシア(5年)	6.668%	▲0.8 bp	▲8.2 bp
フィリピン(5年)	5.891%	▲0.3 bp	+5.2 bp
インド(5年)	6.602%	+0.1 bp	▲3.9 bp
ベトナム(5年)	2.320%	▲1.0 bp	▲9.7 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,801.72	+0.5%	▲2.4%
N225(日本)	36,887.17	▲2.2%	▲0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	5,468.41	▲0.9%	+0.1%
ASX(オーストラリア)	4,687.76	▲0.0%	▲1.4%
FTSTI(シンガポール)	3,914.48	▲0.1%	+0.5%
SSEC(中国)	3,372.55	▲0.3%	+1.6%
SENSEX(インド)	74,332.58	▲0.0%	+1.5%
JKSE(インドネシア)	6,636.00	+0.3%	+5.8%
KLSE(マレーシア)	1,547.27	▲0.7%	▲1.7%
PSE(フィリピン)	6,298.29	+1.3%	+5.0%
SETI(タイ)	1,202.03	+1.0%	▲0.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,326.05	+0.6%	+1.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	303.04	+0.7%	+0.4%
金	2,909.10	▲0.1%	+1.8%
原油(WTI)	67.04	+1.0%	▲3.9%
銅	9,608.63	▲1.4%	+2.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.50	—	149.20
EUR/USD	1.0770	—	1.0900
AUD/USD	0.6235	—	0.6430
USD/SGD	1.3240	—	1.3485
USD/CNY	7.2260	—	7.2790
USD/INR	4.3800	—	4.4930
USD/THB	33.20	—	35.15
USD/IDR	16100	—	16600
USD/PHP	56.90	—	58.70
USD/INR	85.80	—	87.80
USD/VND	24,700	—	25,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台前半でスタート。148円を挟んだ値動きの後、日経平均の軟調な値動きとともに、約5か月ぶりの水準となる147円台半ばまで低下。その後も春闘を受けた日銀の利上げ期待の高まりもあってか、上値重く推移し147円台半ばでクロス。アジア通貨は全般的に小動きとなった。海外時間に米2月雇用統計の発表を控え、目立った新規材料にも乏しい中、様子見ムードの強い展開となった。

海外市場のドル円は147円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米2月非農業部門雇用者数変化指数が予想を下回った他、失業率も予想より悪化し、低調な内容となった。発表後は米労働市場の減速が懸念され、一時146円台後半まで売られる。その後はハウル議長が「利下げを急ぐ必要はない」との認識を示すと、低下していた米金利が上昇する動きに伴い、148円台まで戻す。その後は徐々に動きに乏しい展開となり148円台前半でクロス。

【金利】

先週金曜日の米金利は上昇。序盤は米2月雇用統計が市場予想を下回ったことを受け米金利は低下したものの、その後ハウル議長から早期利下げに対して慎重な発言が見られると反発。米10年債利回りは前日比+2.3bpの4.301%でクロスした。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。先週金曜日はハウル議長から「利下げを急ぐ必要はない」との発言があったものの弱い雇用統計の結果もあってドル円の反発は限定的。足元では日銀に対する利上げ期待が高まっている中、引き続き円買い優勢の展開が継続すると予想。

【本日の予定】

- (日本) 1月 国際収支:経常収支
- (日本) 1月 実質賃金総額 / 毎月勤労統計
- (日本) 1月 景気動向指数(速)
- (日本) 2月 景気ウォッチャー調査
- (日本) 2月 銀行貸出動向
- (日本) 国債入札(5Y)
- (欧州) 1月 キリジャ 鉱工業生産
- (欧州) 1月 伊 PPI
- (欧州) 1月 独 鉱工業生産 / 貿易収支
- (欧州) 2月 キリジャ CPI
- (欧州) 3月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
- (米国) 2月 NY連銀1年インフレ期待

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。